

極彩色の「未来ノマツリ」が繰り広げられた
『六本木アートナイト 2017』開催レポート
2017年の延べ鑑賞者数は約74万人

**次回開催は2018年5月26日～27日に決定！
11月18日～「オープンコール・プロジェクト」募集開始！**

六本木アートナイト実行委員会は、六本木の街を舞台にしたアートの饗宴「六本木アートナイト 2017」を2017年9月30日(土)から10月1日(日)の2日間実施いたしました。

2017年の延べ鑑賞者数は約74万人にのぼり、あらゆる年代の人々が様々なかたちでアートに触れ、非日常的な体験を楽しむ姿が街の至るところで見られました。

今回のメインプログラム・アーティスト蜷川実花さんの作品「TOKYO FOLLOWERS 1」では、作品の中で写真を撮影する観客で溢れ、オープニングアクトとして行われた「TOKYO道中」も圧巻のパフォーマンスで会場全体を魅了しました。さらに六本木交差点のカフェ「アマンド」も会期中は「NINAGAWA ALMOND」となり、アート作品として注目を集めました。

また、今年初の取り組みだった東南アジア・プロジェクトに参加したナウィン・ラワンチャイクン、ネオ・アンゴノ・アーティスト・コレクティブ、国立奥多摩美術館も、インスタレーション、パフォーマンス、ワークショップなど3者3様の表現で、六本木アートナイトを大いに盛り上げてくれました。

東京を代表するアートの祭典として、年々発展を続けている「六本木アートナイト」ですが、今回は季節を変え、初夏の六本木で2018年5月26日(土)～27日(日)に開催いたします。

イベント詳細の発表は後日となりますが、次回開催に向けて、出展作品の公募をする「オープンコール・プロジェクト」の作品募集を11月18日より開始いたします。応募の詳細については公式サイト www.roppongiartnight.com (11月18日公開予定) をご覧ください。



六本木アートナイト2017
蜷川実花《TOKYO道中》

報道関係のお問い合わせ

六本木アートナイト実行委員会 広報プロモーション事務局 (森ビル(株)内)
担当 山村、松島 TEL: 03-6406-6382 FAX: 03-6406-6483